

第62巻 NPGAペア大会競技要領

NPGAペア大会における競技要領〔ベストボール方式〕

ベストボール方式とは (フォアサム、ベストボール方式)	二人一組でペアを組み、必ず四人二組でラウンドします。 ティショットは二組四人が打ち、2打目に各ペアが1つのボールを選択し以後ペア同士が、交互に打ってカップインする事によって成立します。
--------------------------------	---

事例(項目)	対処方法
1 ティショット時の打順について	オナーの組のペアの一人が打ち、次に別のペアの一人が打つ、その後オナーの組のペアのもう一方が打ち、最後に別のペアのもう一方が打つ。 次のホールからも同様とする。ただし、打順の間違いはペナルティを付加しない。 一方、大会等で、主催者側の判断によりオナーの組のペア二人が打ち、次に別のペア二人が打つ方法を採用しても良い。
2 ティグラウンド上での違反について	違反したパートナーのボールを選択した場合、その組にペナルティが付加される。 (カカトを出して打った・ティアアップしないで打った・ティアアップエリア外から打った)
3 2打目以降で打順を間違えた場合	ベストボール選択後、同じプレイヤーが続けて打った場合は1ストロークに数えてペナルティを付加する。次打はペアのもう一方が打つ。
4 パートナーへのアドバイスの可否について	ペアは二人で一体と見なすことから、アドバイスは認められる。ただし、口頭での場合に限られる。
5 パートナーに方向の目印になってもらったり、示してもらった行為について	ペアは二人で一体と見なすことから、目印を置いて打ったと同様の行為と見なされペナルティが付加される。 (打球方向に居て、打つ方向・位置を示す行為なども含まれる。)
6 ストロークしたボールが、パートナーに当たった場合	ペアは二人で一体と見なすことから、自分自身にボールが当たったと同様で、ペナルティが付加される。
7 パートナーが「プレー中のボール」に触れた等の場合	2打目以降で、パートナーが「プレー中のボール」に触れたり、蹴ってしまった場合は、ペアは二人で一体と見なすことから、ペナルティが付加される。
8 ベストボールを選択後にマークの要求するプレイヤーについて	ペアは二人で一体と見なすので、どちらが要求しても良いが、次にストロークするプレイヤー自身で要求することが望ましい。
9 ペアの一方がマークして拾い上げたボールを、ペアの一方がリプレースした場合	ペアは二人で一体と見なすことから、ペナルティは付加されない。ただし、正確にリプレースされていることが必要。
10 ベストボールを選択する時両者がボールを拾い上げてしまった場合	どちらかのボールが「プレー中のボール」になることから、2個とも拾い上げた場合は、ペナルティが付加される。選択した方のボールを元あったと思われる位置にプレースしてプレーを再開する。
11 ベストボールを選択後、ペアの一方がボールを拾い上げずに打ってしまった場合	ベストボールを選択後は、パートナーのボールを拾い上げてから、選択したボールを打つのが基本であるが、打った時点でそのボールを選択したと見なすので、ペナルティは付加されない。 ただし、ペアの一方の拾い上げなかったボールに選択したボールが当たった場合、拾い上げなかったボールは、プレイヤーの持ち物と見なされることから、ペナルティが付加される。
12 OB・アンプレヤブル・救済を受ける場合等のボールの処置について	ペアは二人で一体と見なすことから、パートナーが処置(プレース)してもペナルティは付加されない。
13 プレイヤー本人であるか否かを問わず、ライの改善を行った場合	プレイヤー本人は当然で、パートナーが手助けしてもその組にペナルティが付加される。(植栽・木の枝・ネットなどを持ったり押しつける等の行為も含まれる。)
14 ペアの両名のボールが同一(種・色共)で判別可能な目印を付けていない場合	同組の相手ペアに打順違いを指摘された場合は、事例項目3が適用されペナルティが付加される。
15 誤球した場合の次の打順について	ペナルティを付加し、誤球をしたプレイヤーが正規のボールで次打を打つ。
16 ペアの一人目がホールインワンした時、二人目のティショットについて	二人目もティショットしなければならない。 (ホールインワンは、プレイヤーがホールカップを確認し、カップインを確認したときに認められることから、この時点では確認出来ていないことになります。)
17 パートナー同士のクラブの貸し借りについて	ペアは二人で一体と見なすことから、認められる。

公益社団法人 日本パークゴルフ協会